

# 製図試験.com 自己分析課題添削シート

自己分析課題所要時間 経過時間をお書き込みください

STEP	目標時間	時間	備考
E0	年度条件	0	
E1	I.設計条件	1	具体的なコンセプトのイメージング
E1	4.計画に当たっての留意事項	2	具体的な記述を確認
E1	3.計画の要点	3	図面に反映しそうな点を確認
E2	II.要求図書	4	いつもと違う記述があれば確認
E3	1.敷地及び周辺条件	6	建ぺい率、用途地域、基礎他
	アプローチ(仮)	8	M/Sのアプローチ(仮) 想定
E4	敷地の向き	11	○×△の想定
	2.建築物	12	階数、目標床面積の設定
E4	積上図(1)	13	24コマもしくは1階最大と総3階建
E5	3.屋外施設等	16	全外構の大きさ図示
E6	最大建築面積	20	外構が納められる広場含み最大面積
E7	(3)要求室	23	全体俯瞰+適宜面積計算
	全室リスト	40	高さ・動線・部門含み面積計算
	廊下率	41	1.4~1.6+補正が必要かどうか
	部門廊下含み面積	43	グロス計算+ネット計算
E8	高さ情報	45	読み間違いはないか
	動線図	50	思い込み・読み間違いはないか確認
E9	積上図(2)	51	積上図(1)よりも解答に近づくこと
	ポイントアップ	53	不明・新出・判断迷う点
E10	プラン方針	55	ポイントアップから方向性方針決定
	ゾーニング	65	部門ボリューム・建築物外形・面積概算
E11	コアゾーニング	70	コア位置・建築物外形・スケルトンイメージ
E12	コマプランニング	85	室忘れ・面積間違いはないか
E13	問題文・エスキース最終確認	95	問題文とエスキースの最終確認
E14	1/400エスキース		A4版1/400で一まとめ
Y1	計画の要点	145	キーワード+網羅+文章化
D0	重要記載事項・面積表	155	面積表は確定分だけでも描く
D1	基準線・寸法	165	基準線及び寸法を固める
D2	平面図スケルトン	180	スケルトンの完成・上下階チェック
D3	平面図間仕切り下書き	215	エスキースを1/200にトレース
D4	平面図間仕切り仕上げ	260	縦線・横線を一気に描き入れ
D5	断面図	280	平面図との整合性注意
D6	外構文字入れ	320	最小限表現での完成をめざす
D7	アピール	330	注釈等のアピール
CHK	最終チェック	360	最終チェック+保険として30分

(注) 課題によって若干のステップ・目標時間の変更があります。

自己評価 A-C でご記入ください

NO	項目	評価	チェック内容
1	図面印象		読みやすさ、線の意味とメリハリ、描き込み(必要なことが過不足なく)、文字、答案としての丁寧さ、アピール
2	アプローチ		メイン・サブ、その他公園広場等アプローチ、歩車分離、敷地・建物への記号、ルート、表現
3	寸法・面積		寸法(数字の読みやすさ、寸法線、留め)面積表(計算式、合計、建ぺい率、容積率)、面積上下限
4	外部空間		広場(面積、形状、配置)、敷地内通路、駐車場(台数、表記)、駐輪場(台数、表記)、外構、設備関連他
5	プラン印象		建築物外形、共用部形状及び豊かさ、平面上下階不一致、動線、ゾーニング、コア、スケルトン、環境配慮他アピール
6	吹抜・大空間		取り方、扱い方、表記
7	要求諸室		要求室面積、要求室形状、動線特記、造作特記、抜け他
8	法規		防火区画(縦穴区画、面積区画)、2方向避難(2階、3階)、採光、道路斜線延焼ライン表現
9	構造		ラーメン構造、柱陸立ち、スパン、キャンチレバー、大空間(PC、B梁、柱)、特定天井、その他
10	断面図		表記(構造、基礎、室名、寸法、天井高さ、屋上、設備、パッシブ関連アピール)、平断不一致、切断位置
11	設備・PS関連		空調機械室、DS、空調用PS、受水槽室、PS、キュービクル、EPS 他
12	計画の要点		図面との整合性、日本語、建築計画、構造計画、設備計画、環境負荷低減、防災対策他
13	他・失格		室欠落、面積アウト、図面不一致、他
総合評価			↑自己評価を書き入れてください! ランクとの関連A,-=1,B+,B=2,B-=3,C=4

<講評>

自己分析欄

ご自身の自己分析とそれに対する学習方法・その目標をお書き添えください。

自己分析課題

ID :

ハンドルネーム

<評価>

I. 設計条件

この課題は、受講生の自己分析を目的として、ある地方都市において「屋上庭園のあるコミュニティセンター」を計画するものである。特に周辺環境に対しての配慮が求められている。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」とおとりである。
- 敷地は道路及び隣地との相互間に高低差はない。また歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は80%(特定行政庁が指定した角地にある敷地及び準防火地域における耐火建築物等を含む)、容積率の限度は200%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ち等の必要はない。
- 水害、日影及び積雪の配慮はしなくてよい。

2. 建築物

- 構造、階数等  
構造形式は自由とし、地上3階建ての耐火建築物とする。
- 床面積の合計  
床面積の合計は、2,900m<sup>2</sup>以上3,300m<sup>2</sup>以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。なお、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(駐車場、設備スペース等)については、床面積に算入するものとする。
- 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
市民活動部門	ヨガルーム	・無柱空間とし、鏡を設ける。 ・屋上庭園に面する。	約100m <sup>2</sup>
	ダンスルーム	・無柱空間とし、鏡を設ける。 ・天井高さを3m以上とする。	200m <sup>2</sup> 以上
	ロッカールーム	・ヨガ及びダンス用として、男女別に設ける。 ・各々にはロッカー、シャワーブースを設ける。	計約50m <sup>2</sup>
	キッズルーム	・乳児エリア、キッズトイレ、手洗い等を設ける。 ・キッズバルコニー(約50m <sup>2</sup> )を設ける。 ・キッズバルコニーを除き150m <sup>2</sup> 以上とする。	適宜
	ラウンジ	・日照に配慮する。ソファ・テーブル等を設ける。	約70m <sup>2</sup>
	図書室	・開架書庫、ブラウジングコーナー、貸し出しカウンター、レファレンスコーナー、キャレール、テーブル・イス、図書事務室(面積適宜)を設ける。 ・書籍運搬用の小荷物専用昇降機を設ける。	320m <sup>2</sup> 以上
	茶室	・水屋、踏込、畳を設ける。	約30m <sup>2</sup>
	美術室	・講師室、倉庫、流し等をレイアウトする。	約100m <sup>2</sup>
	調理室	・講師室、調理台、倉庫、流し等をレイアウトする。	約100m <sup>2</sup>
	会議室	・美術室、調理室との動線に配慮する。	約100m <sup>2</sup>
集会部門	多目的ホール	・天井高さ6m以上を確保する。 ・多目的に利用するため無柱空間とする。 ・倉庫等を含み、利用者が可能なホール部分のみで200m <sup>2</sup> 以上とする。 ・広場と一体的に利用可能とする。	適宜
	ホワイエ セミナー室	・セミナー室、多目的室用のホワイエとする。 ・可動間仕切りを設け、2室分割で利用できるようにする。	適宜 100m <sup>2</sup> 以上
共用部門/他	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・市民ギャラリー(約50m <sup>2</sup> )を設ける。	適宜
	吹抜け	・開口面積70m <sup>2</sup> 以上とし、トップライトを設ける。	—
	カフェ	・テラス、イス、カウンターで40席以上設ける。 ・パントリー、厨房を設ける。 ・公園への眺望に配慮する。	180m <sup>2</sup> 以上
	事務室	・8人分の事務スペース(5m <sup>2</sup> /人以上)とする。 ・案内カウンターを設ける。	適宜
設備スペース	便所	・男、女、多機能トイレ(オストメイト対応)を各階に設け便器、洗面、SK等をレイアウトする。 ・その他、採用した設備計画に応じて計画する。	適宜
	空調機械室	・空調を行うための機械室を設ける。 ・必要に応じて室外機、電気設備を設置する。 ・機器のメンテナンスに配慮した配置とする。 ・その他、採用した設備計画に応じて計画する。	適宜
・職員の通用口や倉庫等は、適切に計画する。 ・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、管理・サービス用として2台分以上合計3台分以上を設け、それ以外の一般利用者は敷地外の駐車場を利用する。
- 誰でも利用しやすい位置に広場(面積120m<sup>2</sup>以上)を地上、もしくは1階か2階の屋上に設ける。
- 駐輪場は、2.0m×0.5mとし、25台分以上設ける。
- 屋上庭園(面積100m<sup>2</sup>以上)を1階もしくは2階屋上に設ける。

4. 留意事項

- 建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に留意して計画する。
- 建築物はバリアフリー・セキュリティ、省エネルギー、景観に配慮する。
  - 利用者の当該敷地へのアプローチは、利用者の利便性に配慮する。また各部門は利用形態に応じて適切に計画する。

- 敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮するとともに、空調負荷の抑制や自然光の利用、日射遮蔽及び通風等を用いて、建築環境負荷低減に配慮する。
- 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
- 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画すると共に、適切な断面寸法の部材を配置する。
- 設備機器の搬出入及び更新に配慮した計画とすると共に、コロナ・ウイルス対策にも配慮する。またエレベーター・小荷物専用昇降機等を適切に計画する。
- 建築物の外壁の開口部に延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(面積区画・堅穴区画)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、本建築物は、「避難上の安全の検証」を行わないものとする。
- 非常用進入口もしくは進入口に代わる窓など(代替進入口)を設ける。また廊下を含む共用部分の排煙を適切に計画する。
- 地上に通ずる2以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難に必要な通路」を適切に計画する。

II. 要求図書

【答案用紙 I】の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。なお各図面には、必要に応じて計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

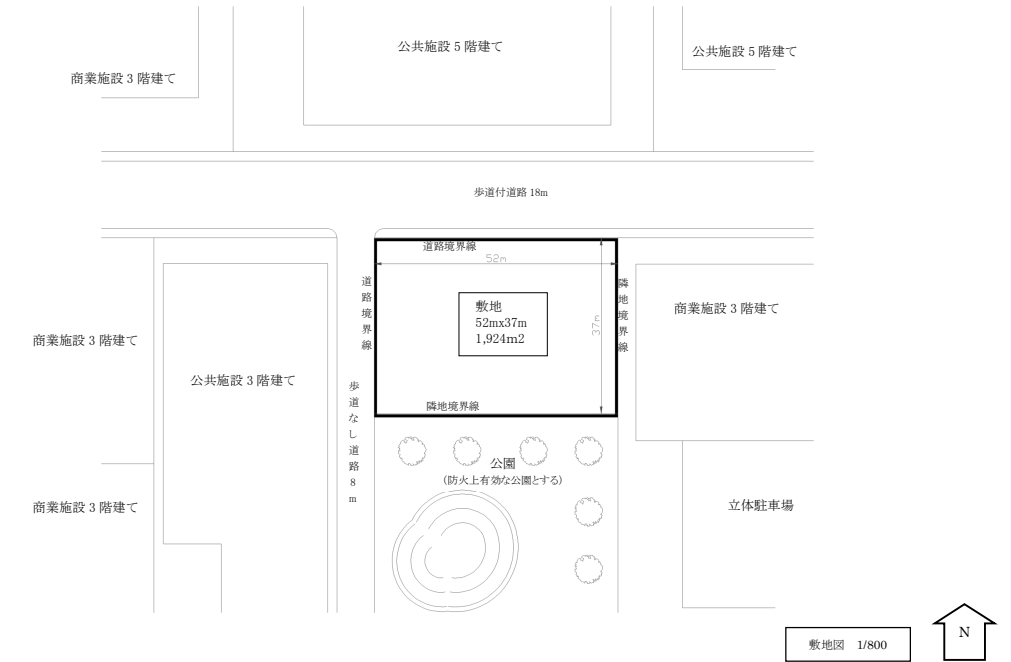
図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図 兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)ロ.室名等 ハ.設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シヤフト(EPS)〕の位置 ニ.設備計画に応じた設備スペース ホ.断面図の切斷位置 ヘ.要求室の床面積、特記事項の室、スペース、什器等 ト.建築物の外壁の開口部に延焼のおそれのある部分の位置及び防火設備、防火区画に用いる防火設備
(2)2階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口(▲で表示)、通用口等(△で表示)ロ.駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。)ハ.敷地内の避難に必要な通路(ある場合のみ)の経路と幅ニ.通路、植栽等
(3)3階平面図 1/200	③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ
(3)断面図 1/200	④ 1階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ ハ.非常用進入口もしくは代替進入口(△で表示) ① 切斷位置は、多目的ホール及び吹抜けを含む位置とする。なお水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 建築物の最高の高さ、階高、天井高、1階床高、基礎底盤及び主要な室名を記入する。 ③ 梁、壁、基礎、スラブの断面を図示する。 ④ 延焼の恐れのある部分及び、防火区画の防火設備、特定防火設備を図示する。

2. 面積表(答案用紙 I に記入)

(1) 地上 1～3 階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率とその計算式についても記入する。

3. 計画の要点等

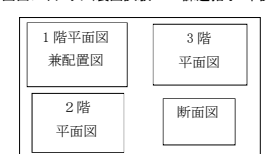
- 建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
- 建築物の配置計画について配慮した点
  - 建築物へのアプローチ計画について配慮した点
  - 建築物と公園との関係性について配慮した点
  - 建築物の動線及びゾーニングについて配慮した点
  - 屋上庭園の配置について配慮した点
  - コロナ及びウイルス対策を含み、各設備計画について配慮した点



防火設備等の凡例  
(◎、◎等の表示は、必要な箇所(外壁の開口部、断面図も含む)に全て記入すること)

【建築物の外壁の開口部に延焼のおそれのある部分の位置(延焼ライン)と防火設備】	【防火区画に用いる防火設備の位置及び種類】
防火区画(面積区画・堅穴区画)に応じて、要求される所定の防火設備の位置及び種別を記入すること	
	特定防火設備 法き九二ノロに規定する防火設備
建築物の外壁の開口部に延焼のおそれのある部分がある場合においては、隣地境界線又は道路中心線から延焼のおそれのある部分までの距離(m)を記入し、延焼ラインを破線で図示すること また、建築物の外壁の開口部に、延焼のおそれのある部分の開口部に要求される所定の防火設備の種別を記入すること	特 防

5. 図面レイアウト(製図試験.com 課題指示:本試験では解答用紙 I に記載)



■添削について  
コース生・添削希望者は、図面、要点、エスキース・分析表を同封して下記住所までお送り下さい。第1回目のメ切りは1月25日(月)消印有効。添削は約1週間程度でご返却を予定しています。  
〒554-0012 大阪市此花区西九条2-7-8-3F 製図試験.com 事務局  
送付前には図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を4つ折りして角2号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。

※ダウンロードして添削を受ける方は別途12,000円で添削します。  
※自己分析課題添削後にコース生になる方は、12,000円の差額支払いとなります。

建築計画・構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。  
なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

(1)建築物の配置計画について配慮した点


(2)建築物へのアプローチ計画について配慮した点


(3)建築物と公園との関係性について配慮した点


(4)建築物の動線及びゾーニングについて配慮した点(図示必須)


図示欄


※要点・図面・エスキースの裏面には念のため、氏名のみお書き添えください。

(5)屋上庭園の配置及び計画について配慮した点


図示欄


(6)コロナ及びウイルス対策及び環境負荷低減等を含み、各設備計画について配慮した点

空調設備

電気設備


給排水設備
